



3/10 六車瑞恵さんが市教育委員会へ絵本寄贈

寄贈された絵本13冊は、市内幼稚園、こども園、小学校に配布されます。絵本「ふしぎなねこのひげ」の作者である高嶋知子さん(さぬき市出身)と六車さんが高校の同級生で、高嶋さんの活動を応援したいとの思いから寄贈されました。

六車さんは、「何歳になろうと夢や希望をもって生きていくのは大切なこと。地元の人が絵本作家として夢を叶えたことを手に取って子どもたちに知ってもらえれば」と話しました。



3/13 地域おこし協力隊員活動報告会が行われました

3月末に任期終了を迎えた地域おこし協力隊員の折原拓人さんと折口洋一さんが活動報告会を行いました。

折原さんはSNSを活用した地域の魅力発信を、折口さんは空き家を活用した店舗経営や地域コミュニティの形成をミッションとして活動し、地域おこし協力隊員になった経緯や活動の成果などを振り返りました。

2人は、今後もさぬき市を中心に活動を続ける予定となっています。

地域の民生委員・児童委員をご存じですか？

市内では、民生委員児童委員115名が、地域の方々の相談に寄り添い、必要な支援を受けられるよう関係機関とのつなぎ役として、さまざまな福祉活動に取り組んでいます。

市内5地区で民生委員児童委員協議会を組織し、地域の实情に沿って「ひとり暮らし高齢者訪問」や「朝のあいさつ運動」などの見守り活動、子育て家庭等への啓発活動を行っています。

民生委員法に基づく守秘義務があるため、相談内容や個人情報を守られますので、子育てや介護のことなど安心してご相談ください。お住いの地域の民生委員については、下記までお問い合わせください。

【問】福祉総務課 ☎(0879)26-9902



民生委員・児童委員↑名簿はこちら



子どもたちの意見を聞いてみよう

さぬき南中学校編 partII



市長とさぬき南中学校の生徒が、香川県立保健医療大学の近藤真紀子教授から大島青松園の自治会長を務めた山本さんの一生について話を聞きました。広報4月号に引き続きその様子をお伝えします。

市長と中学生との人権意見交換会から

令和6年11月28日 さぬき南中学校 会議室(学年は意見交換当時)



今日の話聞いて、どのように感じましたか(大山市長)

ハンセン病に対する差別で、長く苦しめられている人がいたことを知り、とても悔しい気持ちになりました。(2年生 神原 桜琥さん)

なぜ、ハンセン病に感染した人を隔離してしまうようなことが、あったのでしょうか？(大山市長)

自分を守るということしか考えなくて、ハンセン病の患者のことを考えられなかったということだと思います。(2年生 頼富 愛さん)

差別には、理由があります。その、不合理な理由に基づく差別を、一つ一つなくしていくことが、一人ひとりの幸せにつながり、そのことが社会が良くなることにつながると思っています。(大山市長)



【問】人権推進課 ☎(087)894-9088

広報4月号しあわせCOCORO通信の(2年生廣瀬建人さん)は(廣瀬健人さん)の誤りでした。訂正してお詫びします。